



シラバス参照

タイトル「**2015年度 経済学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 経済学部シラバス—専門科目（ビジネスマネジメント学科開設科目）**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	グローバル・マネジメント		
担当教員	高 瑞紅		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	金 5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2・3年次		
科目名（英語表記）	Global Management		
授業の概要・ねらい	<p>国境を超えてビジネスを展開する時代になったことを否定する人は殆どいないだろう。海外では技術と品質を持っていても市場シェアが取れない日系企業とは対照的に、韓国企業は各分野で躍進している。そして中国やインドなどの新興国も、日本企業に対抗する力をつけつつある。国際比較の観点を持って、グローバル競争における日本企業の問題点を考察し、国際経営のあり方について議論をすることが本授業の狙いである。日本企業の国際化をテーマの中心において講義を進めるが、それだけにとらわれず、広く海外企業の事例を紹介し、国際経営の各側面についてもディスカッションを行いたい。</p> <p>この授業では、多国籍企業に関連する事例を紹介し、グローバル・マネジメントを理解するために必要な基礎知識を幅広く講義する。また、通常の講義を補足するため、随時、関連文献の紹介、企業のトップマネジメントによる招待講演、ビデオ教材による学習などを行う。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	オリエンテーション：講義の進め方および概要	
	2	海外進出戦略①：輸出、ライセンス、総合商社の果たす役割	
	3	海外進出戦略②：海外生産、海外直接投資と多国籍企業	
	4	グローバル戦略と国際提携	
	5	戦略的提携と組織間学習	
	6	国際経営とM&A	
	7	異文化マネジメント	
	8	国際マーケティング戦略	
	9	国際経営と組織	
	10	国際人的資源管理	
	11	取引関係の国際比較	
	12	国際化と新たな国際分業	
	13	グローバル・マネジメントの課題：拠点間連携と統合	
	14	日本企業のグローバル経営	
	15	まとめ	
到達目標	この授業では、経済グローバル化の下、国際競争が激化する中で、国境を越えて事業展開している企業を取り巻く問題について議論する。この授業を通じて、グローバル・マネジメントとは何であるか理解するとともに、各国企業の違い		

	を理解することを目指す。また、グローバル・マネジメントに留まらず、様々な経営現象について考察する習慣を身につけてもらう。
成績評価の方法	発言、レポート、期末テストの成績で総合的に評価します。
教科書	特になし
参考書・参考文献	講義中に適宜紹介する
履修上の注意・メッセージ	「経営学基礎論」や「経済学基礎論」などの基礎科目を事前履修していることが望ましい。「日本経済新聞」、「日経ビジネス」など経済紙・誌を読む習慣を身に付けてください。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	経済学部開設科目の「経営学」や「経営学総論」、「経営戦略」、「経営管理」、「マーケティング」など関連する基礎的な科目を事前履修し、関連する概念と内容を理解していることが望ましい。
授業時間外学習についての指示	予習と復習にそれぞれ最低30分、さらに授業内容に関連する課題に関する調査・考察に約1時間、合計して授業1回につき2時間程度、自主的に学習することが必要です。
その他連絡事項	

